

# Go-Ahead ③

<http://toyono-jinjikyo.com/>

平成 30 年度（2018 年度）

子ども主体の授業づくり②

— 授業評価と授業改善 —（中堅教諭等資質向上研修）

## 初任者との合同研修 コラボ研

## テーマ 子ども主体の授業づくり ～先生が教え込む授業から子どもが学びとる授業へ

第 3 回の 10 年経験者研修は、大阪教育大学附属池田小・中学校を会場に、初任者と 10 年経験者がともに学び合う合同研修“コラボ研”を行いました。上記のテーマを柱に、教科・グループごとに 10 年経験者が進行役を担う中、初任者全員が模擬授業を行い、授業後に研究協議をしました。

初任者は、問いに対して 10 年経験者が児童・生徒役となり多様な回答を示し、経験に基づいたアドバイスをていねいにくださったこと等、真摯に授業づくりに向かう 10 年経験者の姿勢から多くのことを学んでいました。“何か 1 つでも初任者の先生へ響くことを伝えたい”“緊張しないよう、安心の場づくりをしよう”といった、10 年経験者の思いが紡ぎ出す温かい雰囲気の中、コラボ研は活気溢れる充実した研修となりました。

### 《中学校班》

### ～ 振り返りシートより ～

授業づくりの主眼をどこに置くのかということを考える機会となりました。各学校園で、目の前にいる子どもたちの様子は異なり、授業づくりも異なってくるはずですが、「子どもを主体に」という部分は変わりません。今日の研修では、10 年目の先生方の幅広い考え方に触れることで、新たに知ったことが多くありました。今まで自分がやってきたことを大切にしながらも、常に他者から他の実践から学ぼうとする気持ちは忘れてはならないと再痛感しました。そして、アンテナを張り巡らし、新たな発見や見識に触れることも必要だと考えます。「経験は大切、されどそこにあぐらをかかない！！」そう思っています。

普段では、授業について協議をする時間がなかなかないので、貴重な時間となりました。毎日の授業をこれからも大切にしていこうと強く思いました。“活動あって学びなし”はダメという言葉が印象に残りました。まさしくその通りだと思いますし、私自身もそうならないように意識していこうと思います。

自分の 1 年目と比べて現在の初任者の方々は、研修体制が非常に充実していると思います。今回の企画は、良いものだと思います。自分の授業を振り返るきっかけになり、豊能地区の子どもたちをどう育てるか、その共有にもなります。また中堅と言われるキャリアの教員にとっても、初任者の伝え方、運営面などからいっても非常に良い経験になると思います。

### 《小学校班》

どの初任の先生も、本時の学びを意識し、準備をして下さったので、研究協議が活発なものになりました。初任の方達の疑問に答えられる様に、10 年目の先生も準備しないといけないので、とても良い取り組みだと思いました。助言できる技術を磨く必要があるので、良い経験でした。

実際に模擬授業を見て、指導助言をするということで、中堅教諭としての自覚を持つことができました。また、初任の方と一緒に考え、深めるということで、自分自身の教材研究にもなり、2 学期に活かしていける研修でした。10 年目の方々の意見もたくさん伺えて、色々な先生の指導の仕方を学ぶことができました。

各先生の良い所をしっかりと見つつも、アドバイスが必要な所は適切にしなければならないこと、またその難しさが分かりました。安心できる雰囲気も作れるようならなければならないと感じました。

改めて、自分が日々どんなことに気をつけ、大事にして子どもたちと向き合っているのかがよく分かりました。また、10 年目の先生方のアドバイスを聞いていて、感心させられることが多く、自分はまだまだだと反省しました。これからも学び続けて、後輩たちに伝えていきたいと思いました。

初任の先生方の工夫された授業をもとに、皆でどうすればさらに良くなるか検討でき、とてもいい学びの機会となりました。今回の研修だけでなく、校内でもこのような会を持っていくことが大切だと思いました。

個人が力をつけるだけでなく、校内において互いに学び合い高め合う教員集団の基盤を築き、学校組織の力へとつないでいくことの重要性を改めて感じた先生もおられました。